

事業所名

児童発達支援 みらいく大岡校

支援プログラム

作成日

令和

7年

1月

1日

法人（事業所）理念		子供から高齢者まで健康で笑顔の絶えない地域社会をつくる			
支援方針		未来への療育「Me-like」自己肯定感を高める支援			
営業時間		10時00分から	19時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	基本的な生活のリズムを身に付けられるようそれぞれの子どもに適した支援をしていきます。健康状態をチェックすることで健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援してまいります。日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもに適した身体的、精神的、社会的訓練を行います。物を購入する流れを通して選択や購入方法についての経験と学びを提供します。掃除の習慣化や技術の向上を図ると同時に、マナーを学ぶ機会を提供します。小さなサインを読み取り筋緊張を緩和する環境づくりと、遊び、姿勢管理により、健康状態の維持や改善に繋げる支援をしていきます。			
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図るとともに視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援してまいります。遊びや運動を通して音を聞くことによるリズム感や表現力・協調性を育む支援をしてまいります。音や温度・室内環境に配慮することで緊張状態を緩め感情コントロールや集中力を高め心身のバランスを整える支援をしてまいります。			
	認知・行動	公認心理師による指導をもとに、日々の変化を確認する環境提供をして情報の取得、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援してまいります。物の個数や形、重さや色、機能や属性の認知形成ができるように支援してまいります。認知の偏り等の個々の特性に配慮しながら感覚形成ができるように支援してまいります。			
	言語 コミュニケーション	始まりの会や終わりの会等で具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけることにより、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援につなげます。文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を活用し、コミュニケーション能力の向上のための支援をしてまいります。キーパーソンの決定や反らし支援の実施などで愛着形成・愛情の修復支援をしてまいります。			
	人間関係 社会性	周囲の人と安定した関係を形成するための支援や無関心である一人遊びの状態から並行遊び、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援してまいります。学習や遊びを通して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援してまいります。			
家族支援		・ 児童が自分で考えたり選んだりすることができるように、一呼吸おいてから次の提案をします。 ・ 具体的な選択肢を二つ提示して選ぶ機会を設けます。 ・ 児童のコミュニケーションや仕草等で気になったことを帰りの送迎時や面談の際に共有いたします。	移行支援	・ 必要に応じて幼稚園や保育園を訪問し、情報の共有や具体的な関わり方のモデルを示します。 ・ 幼稚園や保育園での引き渡し時では、当日の様子やがんばったことなどを聞き、支援に生かしていきます。	
地域支援・地域連携		・ 特別支援教育を提供する教育機関と連携し、障害児の教育的ニーズに応じた支援を行います。		職員の質の向上	・ 各人の経験や職種に応じた研修の参加を促し、スキルアップの機会をつくります。
主な行事等		・ 地域社会の一員として活動に参加できるよう、地域のイベントや活動の機会を提供します			